

1 1 整形外科

選択研修（1ヵ月以上）

（1）一般目標

整形外科疾患を持った患者を適切に管理できるようになるため、基礎的な知識と技術を習得し、診断・治療における問題解決能力と臨床的技能、態度を身に付ける。

（2）行動目標と実践（OJT）

1）診断力の習得

- ①骨、関節、筋肉、神経系の診察ができ、正確な身体所見がとれる。
- ②得られた医療情報をもとに、処方、処置、手術等の適応が判断でき、基本的治療計画が立てられる。
- ③治療法のうち、指示、処方、基本的手技、手術助手、周術期管理、リハビリ処方が実施できる。
- ④症状・病態・検査から鑑別診断をあげ、初期治療ができる。
- ⑤緊急を要する症状・病態に対して初期治療ができる。
- ⑥救急外傷の処置ができる。
- ⑦整形外科乳児健診ができる。

2）治療の実践

- ①指導医または上級医の指導のもと、入院患者を担当し、患者の問診および身体所見をとるとともに、入院時から退院までの診療を行う。
- ②診断・治療に必要な検査の組み立て方を行うとともに、一般撮影、CT、MRI、脊髄造影、骨 RI などの読影を行う。
- ③静脈路、腰椎穿刺、簡単な止血、皮膚縫合、副子固定などの手技を指導医または上級医の指導のもとで行う。
- ④手術予定患者や入院患者の検討を手術室・病棟の看護師、リハビリの PT/OT と一緒に行う。
- ⑤手術に助手として参加し手技を学ぶとともに、術後患者の管理検討を病棟看護師、リハビリの PT/OT と一緒に行う。

【標準的週間スケジュール】

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	手術	外来	手術	外来	手術
午後	検査／病棟	手術 ／病棟 ／回診	手術／病棟	検査／手術	手術／病棟

毎週月曜日午後 6 時からの病棟カンファレンスに参加

12 リハビリテーション科

選択研修（1ヵ月以上）

（1）一般目標

急性期病院における早期リハビリテーションの必要性を理解し、リハビリテーション医学の基本的考え方と技術を身に付け、脳血管疾患、骨・関節疾患、呼吸・循環器疾患、開胸・開腹術後のがん患者の障害を評価し、患者が自分らしく生活していけるよう適切なリハビリテーションを処方する知識と技術を習得する。

（2）行動目標と実践（OJT）

1）診断力の習得

- ①リハビリテーション部門の各療法、セラピストなどの役割を理解する。
- ②どのような患者さんをどのような手法で診療、検査し治療しているか、その概略を知る。
- ③各療法士や病棟のスタッフ、各患者の主治医とコミュニケーションが取れるようになる。
- ④早期リハビリテーションの意義を述べることができる。
- ⑤リハビリテーションの処方を適切に行うことができる。
- ⑥リハビリテーションの適応を理解しゴール設定ができる。
- ⑦リハビリテーションの有効性と起こりうるトラブルを患者家族に説明できる。
- ⑧家庭復帰、社会復帰の計画立案、外来・在宅医療において、生活指導、家族指導ができる。

2）治療の実践

リハビリテーション科に紹介された患者を指導医の指導のもと診療活動を行う。

- ①障害を負った患者に対する早期リハビリテーションの取り組みや各科の患者に対する手術前からのリハビリの開始、及び廃用症候群の発生、悪化の防止のための行動を身に付ける。
- ②基本的な疾患についてのリハビリテーション処方を行う。
- ③がん患者への身体機能や心理状態についてのサポート方法を考える。

【標準的週間スケジュール】

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	オリエンテーション	運動器疾患	脳血管疾患 (OT)	廃用症候群	循環器疾患
午後	急性期リハ (ICU)	脳血管疾患 (PT)	脳血管疾患 (ST)	がん	呼吸器疾患

次のカンファレンス等に参加

月曜日の午後6時から整形外科カンファレンス

火曜日の整形外科回診

水曜日の循環器科カンファレンス、脳外科回診（中止の場合、金曜日）

金曜日の呼吸器内科カンファレンス